

青木村消防団広報

KODAMA

発行所／青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111
発行責任者／佐藤 公孝

No. 13

発行：平成24年3月1日



平成23年度青木村消防団役員と退団者の皆様

平成二十四年青木村消防出初式 式辞

団長 佐藤 公孝



輝かしい平成二十四年の新春を迎え、長い歴史と伝統を誇る青木村消防出初式が来賓各位のご臨席を賜り、ここに盛大に挙行できますことは、団員と共に喜びとするところで

あります。また、団員各位とご家族の皆様に対しまして、日ごろのご活躍とご苦労に深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと当村において、火災4件、自然災害1件の出動がありました。幸いにも人的被害はなく、最小限の被害に食い止められました。このことは、川西消防署、署員の皆様のご協力と、日頃からの村民の皆様の方災意識の高さ、ならびに団員諸君の予広報活動の賜物と感謝いたします。

そして、三月十一日に発生した東日本大震災、翌日の長野県北部地震、二万人近くへのぼる方々が地震、津波の犠牲となりました。この震災に伴い、原発事故も発生し、今も尚、三十三万人を超える方々が避難生活を余儀なくされております。我々と志を共にする消防団員も避難命令発令下、水門閉鎖、避難誘導等に全力を尽くし、二百五十四名もの殉職者を出す結果となりました。被災しながらも、献身的に活動し続ける消防団員の姿を、皆さんもテレビなどで目にしたこ

とでしよう。町を無くし、仲間を亡くし、住む所として家族をも失った方々が、以前のごとく普通の生活に戻るまでには、まだ長い年月がかかると思われられます。我々には大きなことはできないかもしれませんが、少しずつでも支援を続け、自分たちの地域を全力で守ることが必要だと考えております。

また世界的にも明らかに温暖化の影響と思われる異常気象、日本国内においても年々巨大化、凶暴化する自然災害。当村においても例外でなく、近年豪雨災害が発生し大きな被害をもたらしております。村民の皆様から我々消防団に寄せられる期待は、より大きなものとなっております。

どうか団員諸君におかれましては、消防団員としての、重要な使命を再認識されると共に正義と郷土愛、犠牲的精神の上に地域のために立ち上がった先人に学び、新たな決意と誇りを持ってさまざまな訓練に励まれ、火災や風水害等の災害と闘い地域住民の安全と郷土の繁栄のために、より一層の精進を切望するところであります。自立の道を選び、突き進む村の消防団二百五十名、力を合わせ、住民の皆様のためにご尽力いただきたいと思います。

また、本村の機械器具並びに、消防施設につきましては、年々更新と整備が着実に進められており、特に本年度にあつては団員の家族に対して地域消費券の配布、そしてポンプ車の更新をしていただくなど格段のご配慮をして頂きました。このことは団員の士気の高揚と同時に、災害時の活動の一層の効率化が期待されるものであり、村当局の、防災と、消防活動に対する深いご理解の賜物と、この場をお借りして厚く御礼を申し上げる次第であります。そして今回退団される増田前団長をはじめとする退団者各位におかれましては、長年にわたり青木村消防団を支えて頂いた事に対し心より感謝申し上げます。

今後、我々消防団員は益々複雑多様化していく災害等に対し、郷土愛護の精神を忘れず、諸先輩方の築きあげてこられた伝統ある青木村消防団の輝かしい業績と消防精神を継承し規律を重んじ、消防技術の向上を図りながら、より一層の努力をする所存であります。終わりに、本日もご臨席を賜りました来賓各位、並びに団員諸君の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、式辞といたします。

一年間の活動を

振り返って

副団長 佐藤 敬



村民の皆様には日頃より消防団活動に

対し誠にありがとうございます。昨年を振り返りますと、国内において東日本大震災、又東北

部地震と、大きな自然災害に見舞われ、大変な被害がありました。青木村においても集中豪雨による水害が発生しましたが皆様の御協力により被害を最小限に抑えることが出来ました。

我々消防団では、広報活動を通じ、予防消防、防災の啓発活動に努めまいります。今後とも皆様の御理解と御協力を頂きます様、よろしくお願い致します。最後にとなりますが、私達と一緒に活動してくれる団員を男女

問わず募集しております。興味のある方はお近くの消防団員等にご連絡をお待ちしております。

一年間の活動を

振り返って

本部長 香掛 和敏



日頃より村民の皆様には消防団活動に

対し深いご理解とご協力を頂きまして、誠に有難うございます。本年度は、定年延長に関する

検討、水害及び火災に対する各種訓練や講演、バレーボール大会等、団活性化と災害に対する対応力を高めるための活動に力を入れてまいりました。

村内におきましては、地域の皆様方の高い防災意識と消防団の防火啓蒙活動により、火災や災害の発生を最小限に抑えることが出来ましたが、3月の大震災を始めとして国内各地では大規模な災害が発生しております。村においても今後ゲリラ豪雨などの発生が危惧され、我々消防団も有事の際の対応力を高める必要に迫られております。

昨今は団員数の減少に加え、勤務先からの理解を得られないケースも増えており、団員確保の重要性はより一層増しております。男性女性を問わず一人

も多くの新入団員に加入して頂きますようお願いいたします。今後とも消防団に対しご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

一年間を振り返って

水利救護長 池田 誠



村民の皆様には、日頃より消防団活動に

対し深いご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。本年度は昨年度の豪雨災害を受け、消防講習会、災害避難訓練等を村、川西消防署協力のもと行いました。消防団員一人一人が真剣に取り組み災害に対する知識、技術向上になったと思

います。災害はいつ起こるかわかりません。地域の皆様方の防災意識と消防団の防火啓蒙活動、警戒活動により被害を最小限に食い止めることが出来ますので御協力をお願いします。

消防団では団員の減少が年々進み定員数の団員確保が困難な状況になっております。消防団の活動は決して楽ではありませんが、それ以上の達成感、仲間意識を得ることが出来ると思

います。消防団では若者の力を必要としています。一人でも多くの新入団員が加入していただき

ますようお願いいたします。

青木村消防団は村民の皆様が安全で安心して暮らせる村、火災、災害のない村にしていきたいと思

一年間を振り返って

ラッパ長 中沢 晃



村民の皆様には、日頃より消防団活動に

対しまして、深い御理解、御協力を賜り誠にありがとうございます。今年度を振り返ってみますと、ゲリラ豪雨による土砂災害が二度ほどありましたが、消防団はもとより村民の皆様や各関係者の迅速な対応により被害を最小限に食い止める事が出来ました。ありがとうございます。

今年度は、火災、行方不明者の捜索は少ないですが、まだまだ安心できません。これからも村民の皆様のお協力をお願いします。

消防団活動としましては、七月に上小ポンプ操法ならびにラッパ吹奏が青木村で開催されました。また運動会にラッパのアトラクション、消防団主催によるバレーボール大会、そして出初式と多忙でしたが消防団一

丸となつて頑張ってきました。団員数の減少は深刻な問題です。同じ青木村に住んでいる若者の力を必要としています。一緒に青木村を守っていきましょう。

丸となつて頑張ってきました。団員数の減少は深刻な問題です。同じ青木村に住んでいる若者の力を必要としています。一緒に青木村を守っていきましょう。

一年間を振り返って

警備長 若林 広明



村民の皆様には、日頃より消防団活動に

対しまして、深い御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度警備長として任命を受けて、早いもので一年が経とうとしています。振り返ってみますと、今年はお動回数が少ない一年でした。これは、村民の皆様

の防災に対する高い意識と消防団員の予防広報活動の賜物と感謝申し上げます。警備班としましては、消防団行事の他、夏祭り、運動会といった村の行事にも参加してきました。皆の協力もあり、無事終わることが出来た事は嬉しく思います。

最後になります。団員の確保が難しい現状であります。一人でも多くの方が入団して頂けます様、各区の役員の皆様のお協力をお願いします。

未来を守るのはあなたです！
～消防団員募集～
※女性団員も、募集しています。
お問い合わせ先
青木村役場 総務課 総務企画係
電話・情報電話番号
49-0111